



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,535	4.4	191	4.5	196	3.6	122	2.5
29年3月期第2四半期	3,386	△0.8	183	△11.4	189	△8.5	119	△8.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 122百万円 (2.5%) 29年3月期第2四半期 119百万円 (△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	25.35	24.65
29年3月期第2四半期	24.73	24.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,505	3,825	58.4
29年3月期	6,315	3,746	59.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,798百万円 29年3月期 3,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,746	7.3	471	14.4	474	12.7	302	9.2	62.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	4,840,000株	29年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,701株	29年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	4,838,299株	29年3月期2Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国の経済環境は、個人消費の改善の動きは依然として緩やかであるものの、企業収益は回復基調にあり、雇用環境等も引き続き改善の動きをみせている等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、前期に発生した燃費不正の問題の影響を受けた届出車（軽自動車）の販売が回復したこと、登録車（普通自動車）の販売も好調に推移したこと等により当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,482,834台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比7.7%増）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

新車販売につきましては、前期以降にモデルチェンジ等を受けた車種が販売を伸ばしたこと等から販売台数は1,031台（前年同四半期比5.2%増）となりました。また、整備業務を行うサービス売上及び登録受取手数料等の手数料収入も増加したことから売上高は29億7百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

中古車販売につきましては、新車販売からの下取車の他、オークション等による外部仕入等により販売車両の確保に注力しましたが、販売台数は900台（前年同四半期比5.6%減。内訳：小売台数401台（前年同四半期比2.2%減）、卸売台数499台（前年同四半期比8.1%減））となりました。また、サービス売上は増加しましたが、登録受取手数料等の手数料収入は減少し、売上高は5億77百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では、前期中途に開設した新店舗が今期の売上に寄与しましたが、一方で4月からの標準利率大幅引き下げの影響による有力商品の売り止めや手数料率の引き下げ等もあり売上高は51百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は35億35百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は1億91百万円（前年同四半期比4.5%増）、経常利益は1億96百万円（前年同四半期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億22百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。これは、当社グループ全体の売上高に占める割合が大きい新車販売の売上高が前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は34億38百万円となり、前連結会計年度末に比べて53百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が2億31百万円、その他の資産が24百万円それぞれ増加、現金及び預金が1億95百万円減少したことによるものです。固定資産は30億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億36百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1億41百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は65億5百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億89百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は24億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億37百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1億95百万円増加、短期借入金が42百万円、未払法人税等が14百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億45百万円となり、前連結会計年度末に比べて27百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が25百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は26億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億10百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は38億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて79百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億22百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は58.4%（前連結会計年度末は59.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億95百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には14億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は35百万円（前年同四半期は3億67百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益1億95百万円から主に減価償却費54百万円、売上債権の減少額42百万円、仕入債務の増加額1億95百万円、たな卸資産の増加額3億7百万円、その他の資産の増加額23百万円、その他の負債の減少額36百万円及び法人税等の支払額88百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1億15百万円（前年同四半期は0百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億19百万円、貸付金の回収による収入5百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億15百万円（前年同四半期は3億円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出67百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,640,144	1,444,165
受取手形及び売掛金	1,334,286	1,328,046
商品及び製品	281,215	512,601
その他	128,884	153,284
流動資産合計	3,384,531	3,438,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	410,990	507,343
機械装置及び運搬具（純額）	181,982	228,649
土地	2,109,461	2,109,461
建設仮勘定	3,077	—
その他（純額）	6,953	8,016
有形固定資産合計	2,712,465	2,853,471
無形固定資産	1,432	1,271
投資その他の資産	217,338	212,594
固定資産合計	2,931,235	3,067,336
資産合計	6,315,767	6,505,435
負債の部		
流動負債		
買掛金	460,710	656,340
短期借入金	1,291,751	1,249,261
1年内返済予定の長期借入金	50,004	50,004
未払法人税等	74,637	59,813
賞与引当金	48,651	46,653
その他	370,918	372,440
流動負債合計	2,296,672	2,434,513
固定負債		
長期借入金	79,149	54,147
その他	193,314	190,983
固定負債合計	272,463	245,130
負債合計	2,569,135	2,679,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,313,193	3,387,462
自己株式	△673	△673
株主資本合計	3,724,102	3,798,370
新株予約権	22,529	27,420
純資産合計	3,746,631	3,825,790
負債純資産合計	6,315,767	6,505,435

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）
売上高	3,386,952	3,535,781
売上原価	2,588,362	2,726,523
売上総利益	798,589	809,258
販売費及び一般管理費	615,227	617,701
営業利益	183,362	191,556
営業外収益		
受取利息	714	631
受取手数料	7,697	5,810
その他	2,912	2,347
営業外収益合計	11,325	8,790
営業外費用		
支払利息	5,206	3,880
その他	36	108
営業外費用合計	5,242	3,989
経常利益	189,444	196,357
特別損失		
固定資産処分損	78	584
特別損失合計	78	584
税金等調整前四半期純利益	189,366	195,773
法人税等	69,667	73,121
四半期純利益	119,698	122,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,698	122,651

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	119,698	122,651
四半期包括利益	119,698	122,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,698	122,651
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189,366	195,773
減価償却費	54,867	54,279
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,871	△1,998
株式報酬費用	5,018	4,890
受取利息及び受取配当金	△714	△631
支払利息	5,206	3,880
固定資産処分損益 (△は益)	78	584
売上債権の増減額 (△は増加)	297,109	42,019
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,554	△307,319
仕入債務の増減額 (△は減少)	△32,569	195,630
その他の資産の増減額 (△は増加)	△24,460	△23,101
その他の負債の増減額 (△は減少)	△26,631	△36,669
小計	429,845	127,338
利息及び配当金の受取額	18	18
利息の支払額	△5,272	△3,866
法人税等の支払額	△57,423	△88,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,168	35,422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,845	△119,585
無形固定資産の取得による支出	—	△193
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△4,800	△1,113
差入保証金の回収による収入	5,095	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186	△115,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△227,275	△42,489
長期借入金の返済による支出	△25,002	△25,002
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,660	△115,874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	66,321	△195,978
現金及び現金同等物の期首残高	1,428,951	1,640,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,495,273	1,444,165

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,712,929	622,192	3,335,122	51,830	3,386,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	159,155	42	159,198	90,188	249,386
計	2,872,085	622,234	3,494,320	142,018	3,636,338
セグメント利益	184,516	68,257	252,774	17,585	270,360

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	252,774
「その他」の区分の利益	17,585
セグメント間取引消去	△537
全社費用（注）	△86,460
四半期連結損益計算書の営業利益	183,362

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,907,248	577,061	3,484,309	51,471	3,535,781
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145,180	24	145,204	89,515	234,720
計	3,052,429	577,085	3,629,514	140,987	3,770,501
セグメント利益	205,516	64,459	269,976	10,281	280,257

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	269,976
「その他」の区分の利益	10,281
セグメント間取引消去	△1,675
全社費用（注）	△87,025
四半期連結損益計算書の営業利益	191,556

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。